



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉男 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 78 名 出席 51 名 出席率 80.95% 前回出席率 74.60% 修正出席 54 名 確定出席率 85.71%

会員スピーチ

ポリオ・プラス月間にあたり

R.I 理事会とロータリー財団管理委員会は、ロータリアンが、ポリオ・プラスに関する活動を特に重視するように、3月をポリオ・プラス月間に指定することに同意しました。ミュンヘン国際大会で、一般の人を対象とする1987～88年度募金強化キャンペーンが開幕し、6月6日にはテレビでポリオ・プラスへの支援を訴えますが、3月の努力は、そのための道を切り開く役に立つてまいしょう。

一般向け募金が本格的に始まる前に、ロータリアンに対しポリオ・プラス・プログラムの目標について知らせ、鼓舞することが大切です。

目標：世界の児童にポリオの免疫を受けさせるために米貨1億2千万ドル集めること。1987年3月をポリオ・プラスへの認識を新たにするとにしまし

世界社会奉仕委員長 佐藤 忠君

よう。

当委員会の本年の活動は、ポリオ・プラスに全てを傾注して募金に当たっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(スライドの上映)



ゲストスピーチ

インターアクト雑感

温海R.C 本間 儀左衛門 君



皆さん今日は本当に久振りです。鶴岡クラブには1年間位メークしていない様です。

何かお話をと云われましたのでお話ししたいと思います。私は今年度253地区

のインターアクトの小委員長をしております。その辺の雑感を話したいと思います。

私もロータリーに入って16・7年位になりましたが、知らぬことばかりで、インターアクトの委員長をやれと云われた時、インターアクトの年次大会は温海高でやるとは知っておりましたので、その時は観光協会の会長挨拶でもやれば良いのかと思ってお

庄内空港の建設を推進しましょう

おりましたので「ハイハイ」と引受けたのですが、その後地区の役員会があるので出席すれとの事で出席したところ、前任者から大変御苦労ですなあと言われ、そのうちお気の毒ですなあと言われ、何の意味かわからないままに、あとで聞いたら1年間活動しなければならぬと言われました。

年次大会を温海高校で開催されるに対して色々助言や指導してくれるのが当然であるが、その後モロモロのことがあるのですが、前任者が真面目な方で色々と手を取り足をとって教えていただき、ロータリオンはありがたいものだと思っておりました。253地区内のインターアクト16校から約200人位が参加して、8月に無事年次大会が終了しましたのであります。

ガバナーより毎年同じ事をやっては進歩がないので、何か変わったことをやったらと言われました。今年ガバナーは高校の校長なので、ガバナーとインターアクトの委員長も兼任の方が良いほど、大適任な方なので、インターアクトに対しては微細な御指示をいただき、それに答える為に小委員会のメンバー、いわき・酒田と私の3人で地区内16校を手わけして訪問することにしました。私が委員長という訳で7校、いわきの方が6校、酒田の方が庄内の3校を2ヶ月の間に全部訪問しました。その際、スポンサークラブの会長、青少年委員長、又、学校長、顧問教師、そして生徒さん全員が集って楽しい例会を開き、その時アンケート調査を行い、その結果をガバナーへ提出して、これが今まで誰もやらなかったことですよと言ってその論文をガバナーへ提出したところ、ガバナーはこれが大変良いものをいただき

ました、良く拝見しますと、大変喜んでくれました。

あと数ヶ月で小委員長も終わります。しかし、振り返ってみますと、最初は大変忙しい中で1年間インターアクトにふりまわされると思っておりましたが、幸い事務局が温海R.C.にお願いし、すべてをやってくれましたので助かりました。

それから、毎年県外研修に愛知県や三重県あたりを見学し、他地区のインターアクトとの交流をしております。ガバナーはそれに信任をかけて、今度は台湾の姉妹地区へ16校中8校の生徒と、16顧問教師のうち2名を台湾へ派遣し、来年も交流することを次期ガバナーへ引継ぎをしております。今年の青少年委員会は充分その活動を活発にやったつもりです。

私は一回の祝辞をやれば良いと思っていたものが1年間活動したが、考えてみますと、最近の若者から学ぶことが多く、インターアクトの例会に出て、委員長が来たから雑談でもやろうと言われ、生徒から活発な意見が出て、それに私が答を出すことの楽しい例会を7校でやってきました。現代に生きる若者の色々なことを知ることができ、平和に対するものの考え方等々…色々なことを聞きました。年をとればとるほど若い人とつきあい、若者は年寄りと同じくあえと西洋では云っています。皆さん、是非年をとればとるほど若い人とつきあって、気持ちをリフレッシュしていくには、インターアクトの委員長に勝るものはありませんので、若返りたい方は是非次の委員長に立候補して下さい、私が推薦しますから。

今後共インターアクトの活動に御支援をお願い致します。

会長報告

山口篤之助 君

1. 新聞紙上や個人的にお会いして既にご承知の方向がおられる事と存じますが、山形銀行鶴岡支店長の加藤和一さんが4月1日付で郷里の長井支店に支店長として転勤される事になりました。加藤さんは1985年4月16日入会され、渡部前店長の後を受け会計担当理事になられ、前年度は会員増強

委員会、今年度は雑誌委員長として丁度2年間、クラブ発展の為に活躍いただきました。

どうか長井へ行かれましても健康に充分留意なされまして、御奮闘をお願い致します。

幹事報告

松田士郎 君

○加藤さんの送別会は本人の日程の都合で開催され

ませんので、4月2日の山形銀行みやま会の送別会へ多数御出席して下さい。

○例会時間・場所変更のお知らせ

酒田R.C

3月18日の例会を3月18日(水)午後6時点鐘

場 所 ホテルリッチ酒田

登録料 3,000円

○会報到着のお知らせ

八幡R.C 回覧中

○認証状伝達式のご案内

第253地区須賀川南ロータリークラブ

と き 5月9日(土) 午後2時点鐘

と ころ 須賀川市文化センター

講 演 「私の生き方」

女優 中村メイコ氏

登録料 10,000円

記念ゴルフ 5月10日

申込〆切 4月10日

○東北電力情報No.33到着のお知らせ 回覧中

○いなほ作業所だより到着のお知らせ 回覧中

○新会員の推薦に関する氏名発表をしておりますので、反対される方は書面で理事会まで送付して下さい。

退 会 挨拶

加藤和一君

一言御礼を申し上げます。

先程会長より御紹介にあったように、今度4月1日付の移動内示により長井支店へ行くことになりましたので、本クラブを3月31日に退会させていただきます。

60年の4月に皆様の仲間に入り2年という短期間ではありましたが、仕事を離れての御指導・おつき合いを頂き、私にとりましては忘れがたい2年間であり、思い出に残る2年間でありました。大変ありがとうございました。

後任には本荘支店長の山本順一が私のあとに来ま

すので、よろしく私からもお願い致します。私も長井クラブに入会して、地区大会等の会合で皆さんとお会い出来ると思っておりますので楽しみにしております。どうもありがとうございました。

委員会報告

親睦活動委員会

藤川享胤君

例年よりちょっと遅くなりましたが、恒例のマーじゃん大会を下記のように行いますので、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

日 時 3月28日(土) P.M 12:45 集合

場 所 雀 京(昭和通り 京鮎2階)

登録料 3,000円(懇親会費含む)

尚、ゲーム終了後午後6時より、表彰式をかねまして湯殿山食堂にて懇親会を行いますので、引き続きご参加下さい。

スマイル

小松広穂君 2番目の孫娘が第1志望を通りましたので。

佐々木喆彦君 末娘が無事高校へ入学できたので。

本間儀左衛門君 インターアクトの発展を祈念して。

ビジター

温海R.C 本間儀左衛門君

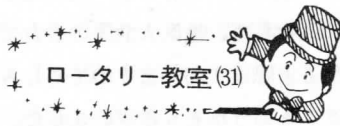
鶴岡西R.C 野口 弥君

ロータリー財団募金収入

8,719円

お詫びと訂正

前回の会報(第1399回例会会報)2頁の「台湾管見その2」内の市川輝雄君の名前を石川輝雄君と間違え深くお詫び申し上げ訂正させていただきます。



(第1385回例会会報より続く)

ロータリー小史10

ロータリーの活動計画

人間もおなじですが、団体もまた、なにを目的としているか——そして、どんな実績をあげているかで評価されます。ロータリークラブあるいはロータリアンがおこなう事業や活動は、ロータリーの活動計画(プログラム)とよばれます。クラブと会員がその計画を立派に実行すれば、奉仕活動としてのロータリーは発展をつづけ、全世界の尊敬を集めることになりましょう。ですから現代世界におけるロータリーの意義と性格、あらゆる奉仕の計画とを、完全に理解しようと努力することが、すべてのロータリアンにとって不可欠となります。

ロータリーの殿堂がよってた礎石は、ロータリーの綱領です。1935年のメキシコ・シティ国際大会で四つの綱領が採用されるまで、ロータリーには六つの綱領あるいは目的とよばれるものがありました。そして、1951年米国ニュージャージー州アトランティック・シティでひらかれた国際大会では、これがさらにとのえられて、四項目からなるひとつの綱領が採用されました。その後、表現を簡潔にし洗練されたものとするために、多少の修正がくわえられましたが、そのとき採用された綱領の精神はかわっていません。ロータリーの計画は、R I 定款および標準クラブ定款の綱領にあきらかにされているとおりです。

その綱領は、企業がなりたつ基盤として、奉仕の理想の奨励をめざす、ロータリーの黄金律です。とくにロータリアンは、下記の4項目を实践するようもとめられます。

- ・奉仕の機会として知りあいを広めること。
- ・実業および専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること。そして、ロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、

その職業を品位あらしめること。

- ・ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活および社会生活につねに奉仕の理想を適用すること。
- ・奉仕の理想にむすばれた、実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

このように、ロータリー運動には、ひとつの総合的目標——ひとつの綱領しかありません。すなわちそれは奉仕の理想をすべての会員にうけ入れてもらうということです。そして、その奉仕の理想とは、他人のことを思いやり、他人のために役立つとすることであると定義されています。

ロータリーの綱領の具体的発現の手段として、四つの基本的方法がみだされました。これは奉仕の四大部門として知られており、その1はクラブ奉仕です。クラブ奉仕とは、各会員自身が属するクラブ内での奉仕活動、たとえば、会員同士の親睦を深める、例会への出席をすすめる、会報を発行するなど、クラブの運営を円滑にするための活動のことです。その2は職業奉仕であり、会員各自の事業、職業の場でその事業や職業を通じて社会のため、あるいは人々のためにつくす活動のことです。その3は社会奉仕であり、地域社会のためにつくす活動のことであり、その4が国際奉仕で、諸外国との友好関係を発展させていく活動のことです。

クラブ奉仕はロータリー奉仕の土台です。クラブの運営が円滑におこなわれてこそ、他の三つの奉仕部門も効果的にはたらくからです。ロータリーの歯車を回転させ、全会員の一致した協力態勢をもつのが、このクラブ奉仕部門であるといえます。クラブの内外で和気あいあいと奉仕活動をおこなえる親睦の精神を深めることが、クラブ奉仕の目的です。新会員に対して、ロータリーの目的、規模、運営、業績などロータリーのすべてを教えることもクラブ奉仕です。クラブが適正に運営されていれば、新会員も会員であることの利点や特典を、いちはやく理解できるはずで

(次回に続く)